



クスの木



豊中市立第十四中学校
 学校だより
 令和6年(2024年)
 3月12日
 発行責任:校長 石井 武

★46期生のみなさん、ご卒業おめでとうございます！

「連帯の力」で思いのこもった最高の卒業式を！

2/22(木)、3年生にとっては中学校生活最後の学年行事となる「合唱コンクール」が実施されました。4クラスそれぞれの特徴と団結が感じられたクラス合唱や46期生の絆と3年間の気持ちがあふれた学年合唱「旅立ちの日に」、みなさんの熱い想いや願いが素敵な歌声とともに体育館に響き渡り、参観されたたくさんの保護者や先生方にさわやかな感動を届けてくれました！最高のパフォーマンスを示してくれた46期生のみなさんに心からの感謝の気持ちを伝えたいと思います。



また、昨日11日は大阪府の公立高校一般選抜入試が実施されました。受験に挑んだみなさん、本当にお疲れさまでした！本番に向けての体調管理が大変だったと思います。あとは運を天に任せ、悔いなく中学校生活を締めくくっていきましょう！

さて、いよいよ15日には「第46回卒業式」を迎えます。46期生最後の授業としてふさわしい式典、153名一人ひとりが主役となる卒業式、中学校生活のラストを飾る行事をみんなの力で創り上げてほしいと思います。私は校長として、みなさん一人ひとりに、3年間頑張った

証である「卒業証書」を心をこめて手渡したいと思います。みなさんが、仲間とともに歩んできた道のりを、態度で、言葉で、歌で堂々と示してくれることを楽しみにしています。

3年生には、これが最後の学校便り「クスノキ」となります。一人へのやさしさと思いやりを大切にして、希望の道をしっかり歩んでくれること、そして、みなさんの人生に幸多からんことを心から願っています。

★3年生保護者のみなさまへ・・・

◆お子さまのご卒業、誠にありがとうございます。

3年間、本校の教育活動推進のために多大なるご理解、ご協力をたまわり、心より感謝申し上げます。卒業式では、9年間の義務教育を終え、心身ともに大きく成長した子どもたちの晴れ姿を、保護者のみなさまとともに喜び、新たな門出をともにお祝いしたいと存じます。

今後とも十四中教育のさらなる発展のために、引き続きのご支援を何卒よろしくお願いいたします。



令和5年度（2023年度）学校教育自己診断アンケート結果分析について

本年2月に実施しました標記アンケートにつきまして、ご協力いただきありがとうございます。

質問項目ごとの肯定的回答（けいねんひかく そう思う・もと だいたいそう思う）に係る経年比較データ（別紙）を基にした分析結果などについてお知らせします。

<生徒アンケート結果より>

- 1 「みんな授業を大切にしている」に対する肯定的回答は、全体で 80%を下回っており、生徒の授業に対する真剣度や目的意識に課題があると考えられます。
- 7 「授業がわかりやすく楽しい」に対する肯定的回答は全学年とも 80%を下回っており、教員が生徒主体の授業に重点を置き、個別最適な学びを追求する中で指導方法の工夫改善を進め、生徒一人ひとりの学力向上に努めなければならないと考えます。
- 8 「授業で自分の考えをまとめたり発表する機会がある」9 「授業でわからないことは先生に質問しやすい」については肯定的回答が伸びつつあり、話す力や表現力は少しずつ向上していると考えられます。
- 12 「環境、国際理解、福祉、人権等について学ぶ機会がある」16 「進路や生き方について考える機会がある」17 「進路に関する情報を知らせている」についても肯定的回答が増えており、「人権・キャリア・進路学習」等を通して生き方を考え、豊かな心を育む取組みは根付きつつあると考えられます。



<保護者アンケート結果より>

- 1 「子どもたちは授業を大切にしている」2 「あいさつがしっかりできる」6 「親身になってくれる友だちがいる」については、概ね良好な回答が得られており、学校生活の充実が進みつつあると考えられます。
- 9 「学校は生命尊重や生き方を考える道徳教育を行っている」10 「環境、国際理解、福祉、人権等の現代的課題を学ばせている」についての肯定的回答は伸びつつあり、人権尊重や豊かな心を育む教育の取組みが進んでいると考えられます。
- 18 「保護者や地域の人々が授業を参観する機会を設けている」20 「子どもに関する個人情報を守られている」については、高い数値の肯定的回答をいただいております。今後とも、学校や子どもたちのようすを見ていただける機会を大事にしていきたいと考えています。
- 19 「いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる」についての肯定的回答は減少傾向にあり、大きな課題であると受け止めています。子どもたちが安心して充実した学校生活を過ごせるよう、生徒指導体制の強化に努めていきたいと考えています。



